

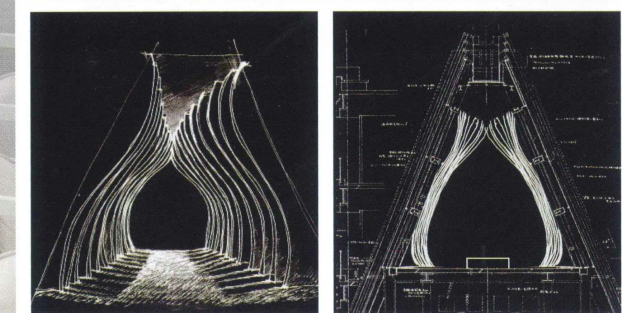
バラの開花をイメージしたチャペル

GRAND HYATT FUKUOKA WHITE ROSE CHAPEL

GRAND HYATT FUKUOKA WHITE ROSE CHAPEL
Designer CELIA CHU DESIGN

設計／シリア チュウ デザイン Celia Chu 上田美雪 Kony Ko Brenda Jen
協力／照明計画 TRACY PENG ローズウォール WANG HSIU CHI
ローズグラフィックアート PAUL PRICE
施工／高島屋スペースクリエイツ
撮影／ナカサ&パートナーズ

チャペルをエントランス側から見る。祭壇側の壁面は、バラのレリーフを施したローズウォール



左／チャペルをエントランス方向に見る。両サイドのフィンの間から自然光が漏れる 上／バラのグラフィックが内照するホワイエ「ローズガーデン」 中／バラ園の門をイメージしたエントランス 下左、下右／イメージスケッチ

つばみから開花していく バージンロード

都会の中心に位置する「グランド・ハイアット・福岡」のチャペルは、ホテルとショッピングモールを結ぶブリッジにあります。以前の状態を見ていて感じた「チャペルにはもっと自然の要素が必要なのでは」という思いから、コンセプトづくりが始まりました。出会いから結婚までのプロセスは、育てるのが難しいバラの花が種子から開花するまでのプロセスととても似ています。このバラをモチーフに、チャペル

はデザインされることになりました。バラ園の門をイメージしたエントランスを抜けた先には、グラフィックアートによるインフィニティーローズガーデンが広がります。バラ園の中をくぐり抜けていくイメージを意図しました。チャペルは、静かで荘厳に。入り口から祭壇に向けて、バージンロードを歩いて進むごとにバラがつばみから開花していく過程を表現しています。フィンの間から差し込む光や祭壇のローズウォールに当たる光が、時間とともに変化していき、重厚な印象をつくります。

チャペル内では、バラのパフュームをリクエストに応じてスプレーしており、視覚や嗅覚、バイブオルガンやハンドベル演奏などの聴覚が刺激される空間に仕上がりました。
(シリア チュウ デザイン)

「グランド・ハイアット・福岡 ホワイトローズチャペル」データ

所在地：福岡県福岡市博多区住吉1丁目2-82
工事種別：内装のみ 全面改装
床面積：180㎡
工期：2009年8月9日～27日
施工協力：音響設備／E-WORKS

営業内容

開店：2009年8月29日
営業時間：午前10時～午後7時
電話：(092) 282-2800
経営者：㈱エフ・ジェイ ホテルズ
チャペル挙式料：18万円～
最大施設利用組数：10組 客席数：80席

主な仕上げ材料

床：ホワイエ／木板張り チャペル／カーペット敷き 大理石(白)磨き仕上げ
壁：エントランス／左官仕上げ ホワイエ／ミラー貼り
ガラスの上グラフィックシート貼り SUS貼り AEP(白) チャペル／AEP(白) CLツヤあり塗装 ローズウォール／GRC貼り ドア／レザー貼り
天井：AEP(白)

